

うおぬま支部だより

発行

公益社団法人新潟県看護協会

うおぬま支部



令和6年1月27日、魚沼基幹病院にて、長岡崇徳大学母性看護学助教佐藤初美先生をお招きし、『乳腺炎とその対処法』というテーマで講義や事例検討を行う場が設けられました。

コロナ禍が明け、5年振りのうおぬま支部での助産師職能研修会を開催しました。十日町支部との合併を見越し、今年度は十日町支部との合同研修会を企画しました。



若手助産師が大半を占める当支部では、乳腺炎褥婦を担当する機会や経験が少なく、授乳方法や対応について、先生の講義やガイドラインに沿った治療方法、事例を用いた対処方法等を知り理解が深まりました。

研修後のアンケートでは、基本的な乳房の病態生理や乳汁分泌の仕組みに始まり、乳腺炎の種類や、その種類に応じた対処方法を検討する必要性や、助産師の指腹圧迫力が褥婦に与える影響等多くの知識を得られる講義となっていました。

佐藤先生の温かい心配りが、日々の業務での葛藤を癒してくれる、そんな時間となりました。

また、病院勤務の助産師は母児が病院を退院した後の、地域でのサポート体制についての知識や連携、関係性が希薄化しており、地域で活躍する助産師・保健師との情報共有の場が必要であると、改めて実感する事ができました。

今後とも、魚沼・十日町支部活動にご協力くださいます様、宜しくお願い致します。

